

富山県感染症発生動向速報

(2025年第21週分・5月19日～5月25日)

■今週の主な動向

○水痘の患者報告数が注意報レベル（1.0人/定点）に達しました。

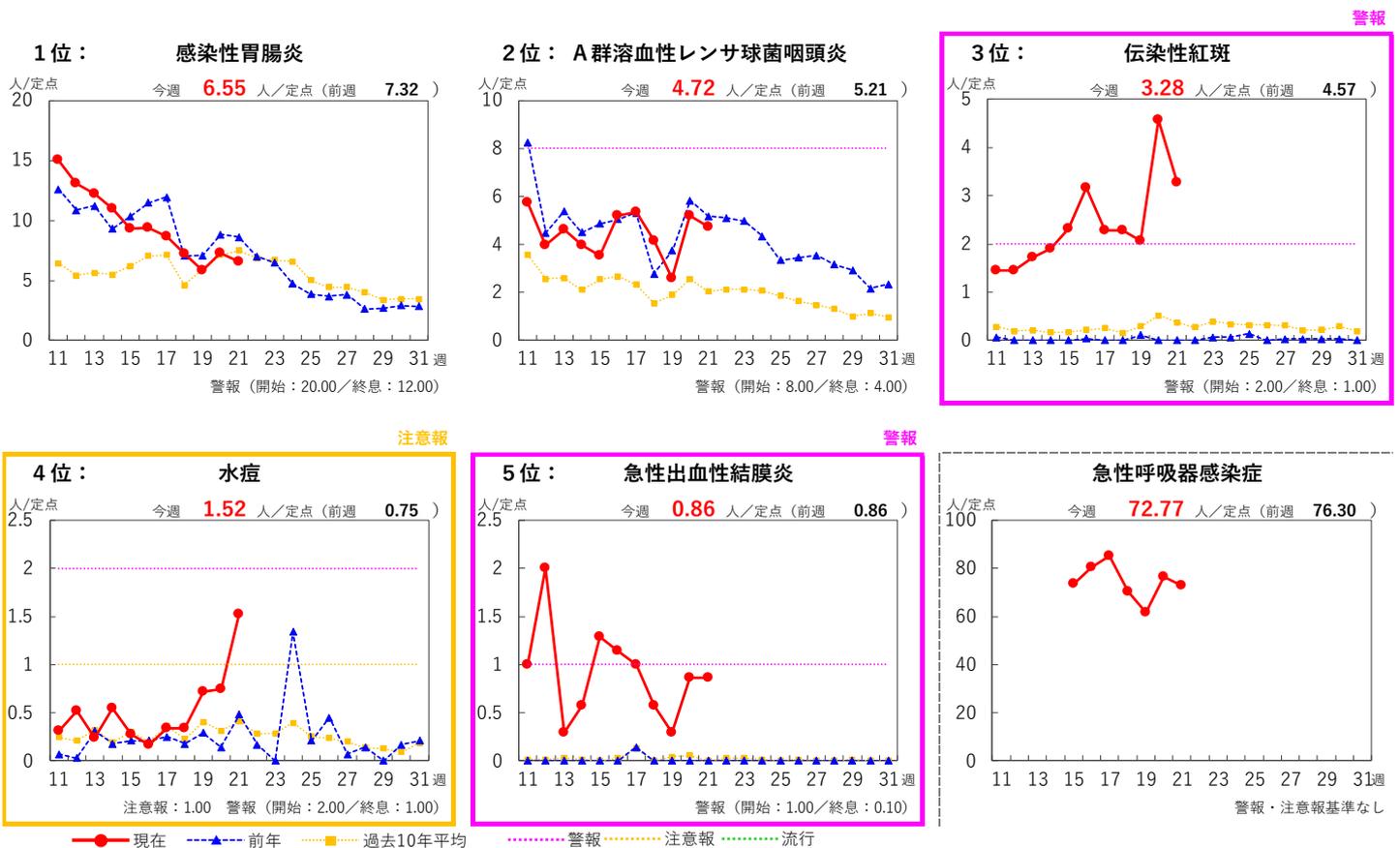
水痘（水ぼうそう）は、感染力が強いウイルス感染症で、空気感染、飛沫感染、接触感染で人から人へ伝播します。今週注意報レベルの基準を超えたため、[富山県感染症・疾病対策課は注意喚起を行っています](#)。水痘はワクチン接種で予防可能な疾患です。生後12～36か月の間に2回接種する定期接種を必ず受けましょう。

○百日咳が今週33例（2025年累積236例）報告されました。

10～14歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（[第18週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患＋急性呼吸器感染症（第21週・5/19～5/25）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 4件 (①30歳代、女性 ②60歳代、女性 ③70歳代、男性 ④80歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件 (①40歳代、女性、肺炎型 ②80歳代、男性、ポンティアック熱型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 (第20週診断分: 80歳代、女性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (70歳代、女性、A群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2件 (①10歳未満、男性 ②90歳代、女性)
- 梅毒 2件 (①20歳代 ②40歳代 ①②共に男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)
- 百日咳 46件 (①第16週診断分: 10歳未満、女性 ②第19週診断分: 10歳未満、男性 ③～⑬全て第20週診断分 ③④共に10歳未満、男性 ⑤～⑨全て10歳代、男性 ⑩～⑬全て10歳代、女性 ⑭～⑯全て10歳未満、男性 ⑰～⑳全て10歳未満、女性 ㉑～㉓全て10歳代、男性 ㉔～㉖全て10歳代、女性 ㉗70歳代、女性)



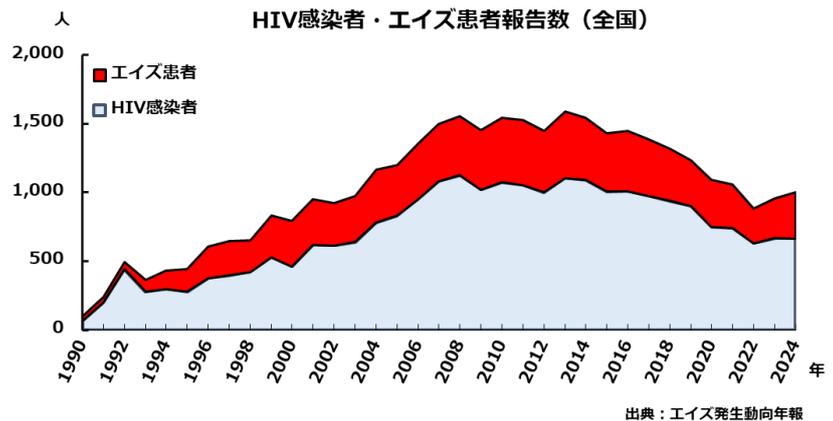


6月1日から7日はHIV検査普及週間 不安な方は検査を！

《インフォメーション》

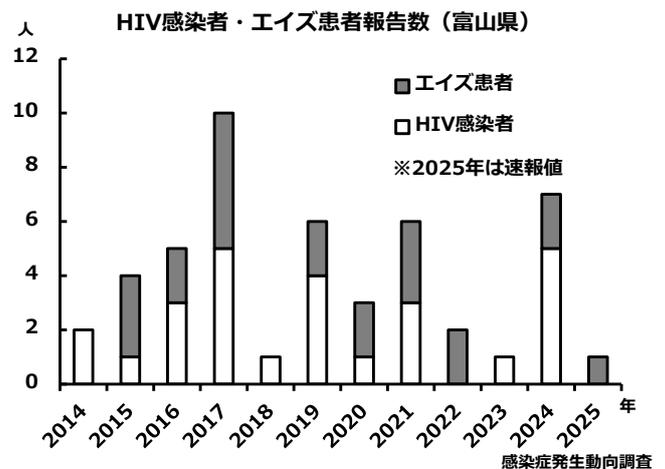
●HIV検査普及週間

エイズ（後天性免疫不全症候群）は、ヒト免疫不全ウイルス（Human immunodeficiency virus:HIV）に感染することによって免疫不全が生じ、日和見感染や悪性腫瘍が合併した状態です。厚生労働省エイズ動向委員会によると、2024年に新たに報告されたHIV感染者（HIVに感染しているが、エイズを発症していない方）およびエイズ患者はそれぞれ664人、336人で（速報値、上図）、HIV感染者は横ばい、エイズ患者は前年よりも増加しました。



富山県における過去10年間の年間の新規報告数は1～10人で推移しています（下図）。

エイズの原因であるHIVは、人の免疫の中心的な役割を担っているヘルパーTリンパ球やマクロファージに感染します。HIVに感染すると数週間以内にインフルエンザ様の症状を呈することがありますが、多くの場合は自然に軽快します。HIV感染後、自覚症状のない時期が数年続きます。さらに進行すると免疫不全による感染抵抗力が低下し、日和見感染症などを発症するようになります。免疫不全により発症する疾患のうち、代表的な23の指標となる疾患が決められており、これらを発症した時点でエイズ発症と診断されます。



厚生労働省は6月1日～7日を「HIV検査普及週間」と定め、HIV検査の普及を図っています。この期間、今年度は新川厚生センター、高岡厚生センター、富山市保健所では通常の検査体制に加え、平日夜間の検査を（富山市保健所においては休日検査も）実施しています。（[富山県エイズ相談・HIV検査HP](#)）HIV感染症は適切な治療によりエイズの発症を抑えることができるため、HIV感染を早期に発見することが重要です。HIVの感染力は比較的弱く、性行為以外の社会生活のなかでうつることはまずありません。性行為による感染、血液を介しての感染、母親から赤ちゃんへの母子感染の3つの経路で感染します。HIVに感染した不安のある方はこの機会にHIV検査を受けることをお勧めします。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第21週 2025年5月19日～2025年5月25日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		3	4	5	1	7	4	29	46
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1		1	2	4		4	4	16	28
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2
四類感染症	E型肝炎									2			2
	A型肝炎								1	1			2
	デング熱									1			1
	レジオネラ症					2	2		1	2		3	6
五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9
	急性脳炎									1			1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1	1		2		4	7
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症			1		1	2	5		6	3	10	24
	水痘（入院例）									1			1
	梅毒	1		1			2	2	1	3		9	15
	百日咳	1	7	9	1	15	33	12	35	48	10	131	236
	風しん										1		1
	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （47定点）	急性呼吸器感染症（※1）	368	284	1,116	262	1,390	3,420	2,469	2,267	8,069	1,797	10,128
インフルエンザ		2	2	1	1	9	15	925	849	1,644	974	1,867	6,259
COVID-19		8	4	6	1	7	26	808	332	902	618	782	3,442
		0.29	0.40	0.08	0.14	0.56	0.32						
小児科定点 （29定点）	RSウイルス感染症	2		1		9	12	24	22	106	37	161	350
		0.50		0.13		0.90	0.41						
	咽頭結膜熱	1	2	8		2	13	53	22	164	2	48	289
		0.25	0.67	1.00		0.20	0.45						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	7	51	7	66	137	84	186	945	120	1,278	2,613
		1.50	2.33	6.38	1.75	6.60	4.72						
	感染性胃腸炎	26	7	47	10	100	190	556	456	1,155	383	2,906	5,456
		6.50	2.33	5.88	2.50	10.00	6.55						
	水痘		4			40	44	2	19	23	11	160	215
			1.33			4.00	1.52						
	手足口病					1	1	1	1	10	1	2	15
						0.10	0.03						
	伝染性紅斑	6	6	30	8	45	95	44	109	357	29	389	928
		1.50	2.00	3.75	2.00	4.50	3.28						
突発性発しん		2	5		8	15	3	10	49	13	47	122	
		0.67	0.63		0.80	0.52							
ヘルパンギーナ							16	1	1	1	1	20	
流行性耳下腺炎				1		1	1	4	5	4	11	25	
				0.25		0.03							
眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎				6		6			4	80		84
					6.00		0.86						
	流行性角結膜炎							1		15	1	1	18
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
	マイコプラズマ肺炎		2		1		3	13	7	16	16	4	56
			2.00		1.00		0.60						
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）								5			5	
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242
	COVID-19による入院患者	1			1	2	4	74	68	51	111	181	485

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。